

平成21年度実施 地域ICT利活用モデル構築事業 成果報告書

実施団体名

熊本県阿蘇市

事業名称

ICT活用による環境活動支援モデル事業

1. 事業実施概要

本事業では、阿蘇の自然環境保全と活用を進めるため、環境活動を支援するためのシステム基盤づくりに取り組んでおり、平成20年度契約番号2013で実施した地域ICT利活用モデル構築事業を基盤とし、ICTを活用した環境活動支援機能を充実することで、環境活動基盤、事業基盤、環境交流の強化を図り、更なる事業力の向上を目指します。

具体的には、利用者への利便性向上および情報交流の活性化、更なるファシリテーターの獲得を目的とし、イベント・ボランティア参加や事前学習、事後学習など、環境活動支援マネジメントシステムおよびエコビジネス支援システムと連携を図り情報サービスを提供します。また、より多くの人たちに理解・共感してもらい参加・支援してもらうため、コンテンツの充実・情報の分かりやすさを目的とし、阿蘇専門の情報百科事典：ASOPediaを提供し阿蘇に関する情報を一元管理することで、各環境保全活動団体と連携した情報収集／情報利活用のサイクルを構築します。更に、阿蘇における環境保全・環境活動を管轄する各団体への支援強化を目的し、モノ・人などのマッチングシステムを提供します。

その他、阿蘇の自然環境保全活動の中での貢献度（カーボンオフセット）を自己評価、エコポイントとして評価し、公的機関等が進めるエコ・アクション・ポイント等と交換できるインターフェースの検討および仕組みづくりを目指します。

2. 目標の進捗状況

指標	目標値	結果の数値	達成状況	計測方法・出展等
環境ボランティア支援の拡大	1,800人	2,000人	○	阿蘇市統計資料
ASO 環境共生基金への支援拡大	企業・団体:200人 個人:1,500人	220人 1,600人	○	環境共生基金報告書
環境交流の拡大	2,500人	2,500人	○	阿蘇市統計資料

<委託業務説明書>

1 平成21年度事業実施において明らかとなった課題

本事業への取り組みは今後、阿蘇での環境活動に展開していくために、新たな方向性を見出す可能性があるといた点で期待が寄せられています。

これまでの事業の取り組みの中で、明らかになった課題として以下のことがあげられます。

①. ICT（システム）への理解促進とネットワークづくり

現在阿蘇市での環境保全は、NPO 団体を中心として、ボランティア、企業等による活動が広がりをみせていますが、活動の中心が50～60代の中老年世代が中心となっており、システムやICTの活用への理解を促進することが課題となっています。誰でも、どこでも、いつでも、簡単に参加でき活動するうえで便利な道具としてのシステム開発、地域や活動と密着したコンテンツづくりが必要です。また、環境活動を効果的に継続的に行っていくためには、ネットワークづくりが課題となっています。本システムを活用して情報の共有化を図ることで活動の連携やネットワークづくりを進めていきます。

②. エコポイントの活用方法の多様化

環境貢献ポイントの活用を検討していますが、現在利用できる施設・商店が少なく、地域に限られているため、ポイントの多様な利用方法の拡大が課題となっています。また運用に際する運用資金調達の問題も利用拡大に伴い重要な課題となります。

今後、ネットショップでのポイント活用や公的な運営がされているエコポイント等との連携なども視野にいれ、多様な利用方法を検討していくと共に、資金調達の面から環境省によるオフセット・クレジット制度の導入を検討していきます。

③. 既存システムとのシームレスな連携

本システムを有効活用していくうえで、NPO、行政等の既存 Web システムとのシームレスな連携を課題と捉え、既存システムとの連携インターフェースの仕組み（OPEN-ID 等）を構築しサイト毎でのユーザログインの手間を省き問題解決を図る予定でした。しかし、実際の利用者の声として NPO や行政等の阿蘇に関する様々な情報サイトが乱立し、欲しい情報がどこにあるのか見つけにくい、欲しい情報が見当たらずどこに聞けばいいのかなどの問題があることが分かりました。そこで今回、阿蘇専門の情報百科事典：ASOPedia を提供し、利用者への利便性の向上を図ると共に情報収集・情報利活用のサイクルを構築することで問題解決を図ることにしました。

2 自律的・継続的運営の見込み

本システムについては、平成20・21年度を基盤づくりとして平成22年度以降は地域情報化の拠点施設である阿蘇テレワークセンターを中心として、NPO 団体、各種団体、行政等の連携により、自立的・継続的な運営への移行を図ります。

その実現に向けては、環境活動ネットワークの拡大を図るとともに、地場産業（農業、商工、観光）との連携によるエコビジネス、コミュニティビジネス等への本システムの活用を検討し、自立

的・継続的な運営を目指します。

3 今後の展開方針

本事業が効果をあげるためには、環境活動支援センターとしての更なる機能充実及び市内外の環境活動団体・企業、市民等とのネットワーク拡大（本システムの利用拡大）が必要となります。

各システムや地域コンテンツの充実をはかり、阿蘇の環境活動への関心や参加意欲を高め、環境ネットワークを拡大していきます。

また、地域や NPO 団体等と連携し、エコビジネス等の可能性を検討していきます。

<実施体制説明書>

1 実施体制

阿蘇市 ICT 利活用推進協議会

(目的)

情報通信システムの仕様決定、事業を継続的に運用、活用していくための体制、費用負担の方法、課題解決のための具体的な行動計画、役割分担等について検討します。

阿蘇市

環境部門、地域振興部門、農業・観光部門、情報部門など

環境保全活動団

(財) 阿蘇グリーンストック、NPO 法人阿蘇田園空間博物館、NPO 法人九州バイオマスフォーラム、阿蘇ミュージアムなど

観光関連団体等

阿蘇市観光協会、阿蘇市商工会、地域づくり団体、波野やすらぎ交流館等

農産物生産者団体等

阿蘇森林組合、水土里ネット阿蘇、水土里ネット一の宮、熊本県畜産農業協同組合など

ICT 等の支援関係

熊本大学、阿蘇自然環境事務所、阿蘇地域振興デザインセンターなど環境保全に関する有識者など

2 各主体の役割

No	名 称	役 割
1	阿蘇市	実施主体。協議会の運営
2	熊本大学	専門的立場から地域での I C T 活用の指導、助言
3	阿蘇市商工会	地場産業との協働及び連携、環境交流等の助言、協力。
4	阿蘇市観光協会	観光関連事業との協働及び連携、効果的な資源活用をつうじた環境交流の助言及び参加。
5	(財) 阿蘇グリーンストック	阿蘇の自然環境保全活動のオピニオンリーダーとしての実績から本事業推進の中心的役割を担う。
6	NPO 法人阿蘇田園空間博物館	阿蘇の地域資源の発掘と保存・活用、人材育成の実績から本事業推進の中心的役割を担う。
7	NPO 法人九州バイオマスフォーラム	草資源、森林資源のバイオマスエネルギー活用の実績から本事業への助言及び協力

8	やすらぎ交流館	都市と農村の交流活動、環境学習などの実績から本事業への助言参加。
9	NPO法人 阿蘇ミュージアム	都市と農村の交流活動、環境学習などの実績から本事業への助言参加。
10	阿蘇森林組合	森林の育成、保全活動の実績から本事業への助言参加。
11	水土里ネット阿蘇	農地の環境保全、水資源の確保等の実績から本事業への助言参加。
12	水土里ネット一の宮	農地の環境保全、水資源の確保等の実績から本事業への助言参加。
13	熊本県畜産農業協同組合	農業の指導や流通支援の実績から本事業への助言参加。
14	阿蘇地域振興デザインセンター	阿蘇の地域づくりのオピニオンリーダーとしての実績から本事業への助言参加。
15	阿蘇自然環境事務所	阿蘇の自然環境保全及び活用についての助言。

事業実施進行表

実施内容	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	H22 1 月 (	2 月	3 月
協議会等開催					△							△
システム構成の 検討・決定	→											
システム構築に 係る契約					→							
システム設計 構築						→						
システム稼働										→		
報告書作成											→	

その他

本事業により構築したウェブサイト又は本事業を掲載したウェブサイト

<http://www.asoict.jp/>【阿蘇グリーンコレクション】

<http://mobilecc.asoict.jp/>【阿蘇グリーンコレクション携帯版】

平成22年3月31日

平成21年度実施 地域ICT利活用モデル構築事業 システム設計書

実施団体名：熊本県阿蘇市

事業名称：ICT活用による環境活動支援モデル事業

1 概要

昨年度の地域ICT利活用モデル構築事業運用による課題を踏まえ、更なるICT活用を目的とし、各システムの利便性を高めると共に、コンテンツの充実や分かりやすさ、各環境保全活動団体と支持者との情報交流の強化を図り、更なる事業力の向上を目指す。

①. 環境活動交流システムの機能強化

利用者への利便性向上および情報交流を目的とし、新たな情報サービスの提供およびイベント・ボランティア参加や事前学習、事後学習など、各システムとの連携を図る。

②. 環境活動支援マネジメントシステムの機能強化

コンテンツの充実・情報の分かりやすさを目的とし、各環境保全活動団体と連携した情報収集および情報の利活用を図る。

③. エコビジネス支援システムの機能強化

環境保全活動の支援強化を目的とし、モノ・人のマッチングなど利便性の向上を図る。

④. 地域環境貢献評価システムの機能強化

エコビジネス支援システムと連携し、活動の貢献度をポイントとして還元する。

2 運用結果

本事業では、平成20年度事業に引き続き以下の機能を提供しポータルの運用を行なった。

- ◆ 環境活動交流システム : 掲示板・メールマガジン・アンケート
イベント／募集などと各システムとの連携
- ◆ 環境活動支援マネジメントシステム : エコガイド・事前／事後学習・ASOPedia
- ◆ エコビジネス支援システム : エコマッチングシステム
- ◆ 地域環境貢献評価システム : 各システムと連携による貢献度診断

3 課題・改修の必要性

本事業では、環境というテーマの中でICT活用により環境保全活動団体の支援を行い、幅広い人に共感を得て活動に参加してもらうことを目標とした。そこには、支持者は阿蘇を訪れ自然との触れ合い、環境保全活動団体は豊かな体験と学びの場を提供し更なる支持者獲得により、お互いがWIN-WINな関係を築き、結果、持続可能な環境地域づくりに繋がっていくものとする。事業継続に伴い、エコビジネス等の可能性検討を含め、今後一層のICT活用に向けた取組みを図っていく事が課題であるとする。

4 その他